

岡部 (洋) 研究室

[構造物の健全性診断技術]



生産技術研究所 機械・生体系部門

Department of Mechanical and Biofunctional Systems

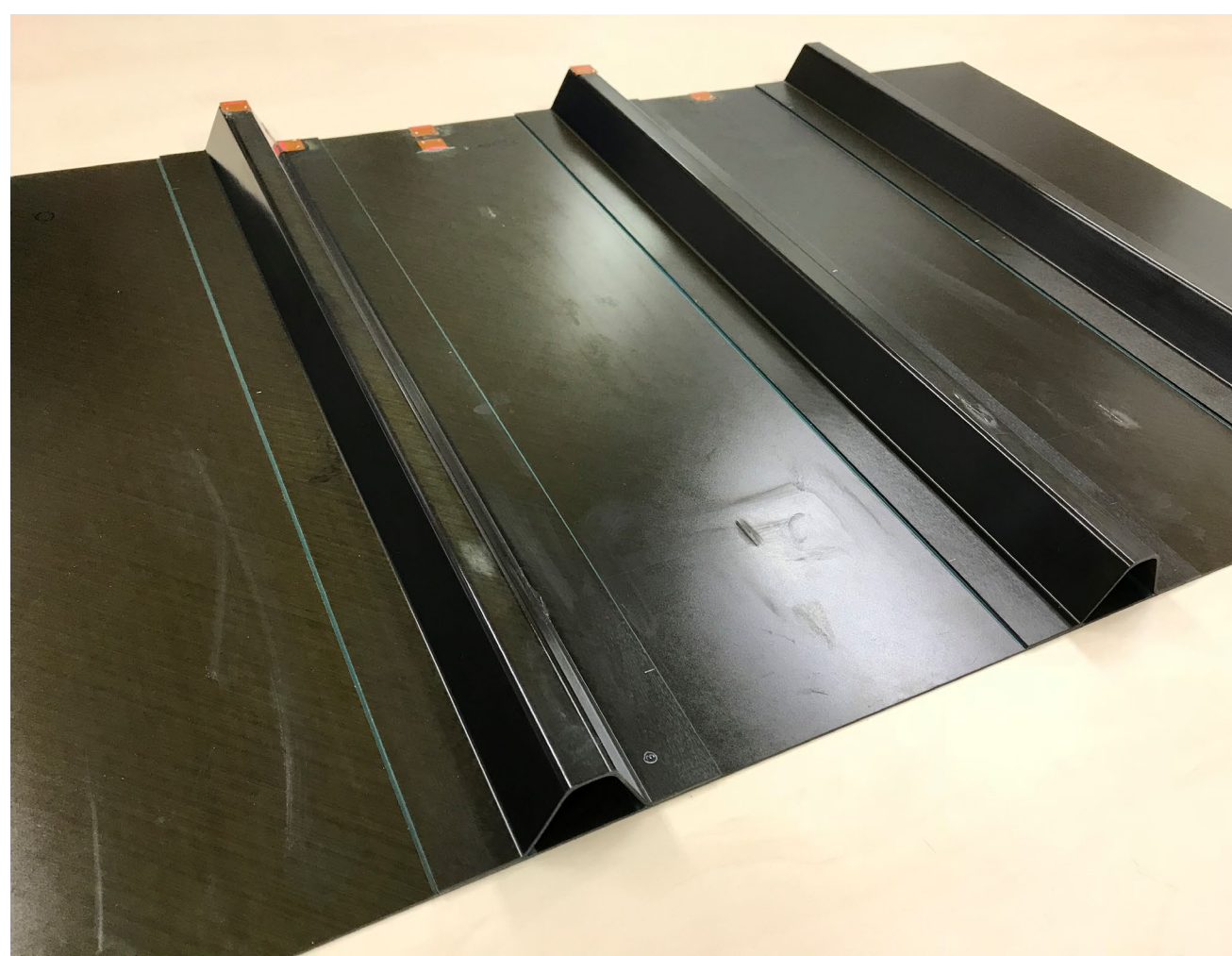
構造健全性診断学

工学系研究科 システム創成学専攻

<http://www.okabeylab.iis.u-tokyo.ac.jp/>

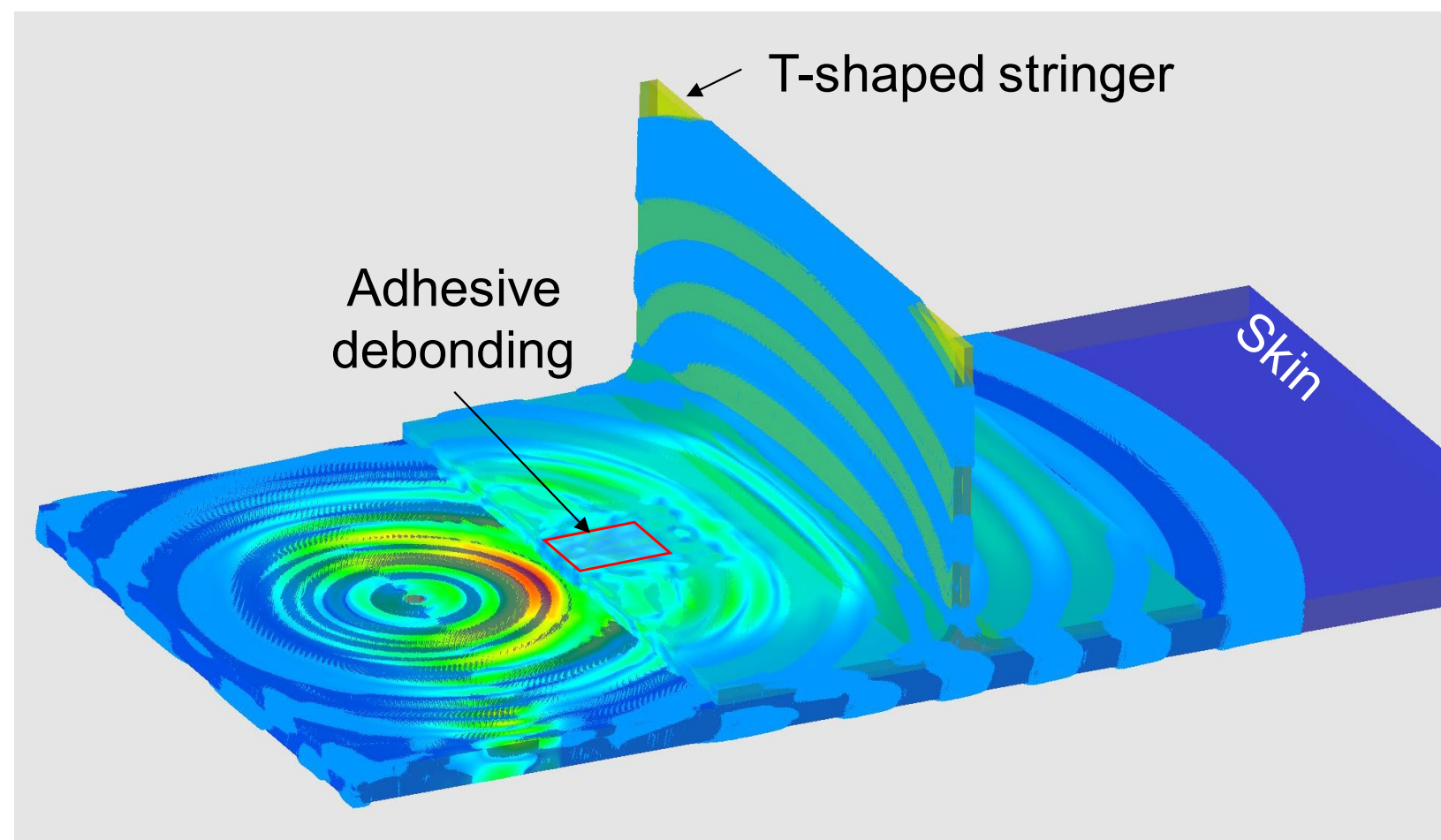
航空機・自動車等への適用が進む軽量複合材料構造を対象として、その健全性を簡便に診断するための、光ファイバ超音波センサによる構造ヘルスマニタリング技術や、レーザー超音波を用いた非破壊検査技術に関する研究を進めています。さらには、高温などの極限環境にも適用可能な検査システムの構築を試みています。

軽量複合材料構造

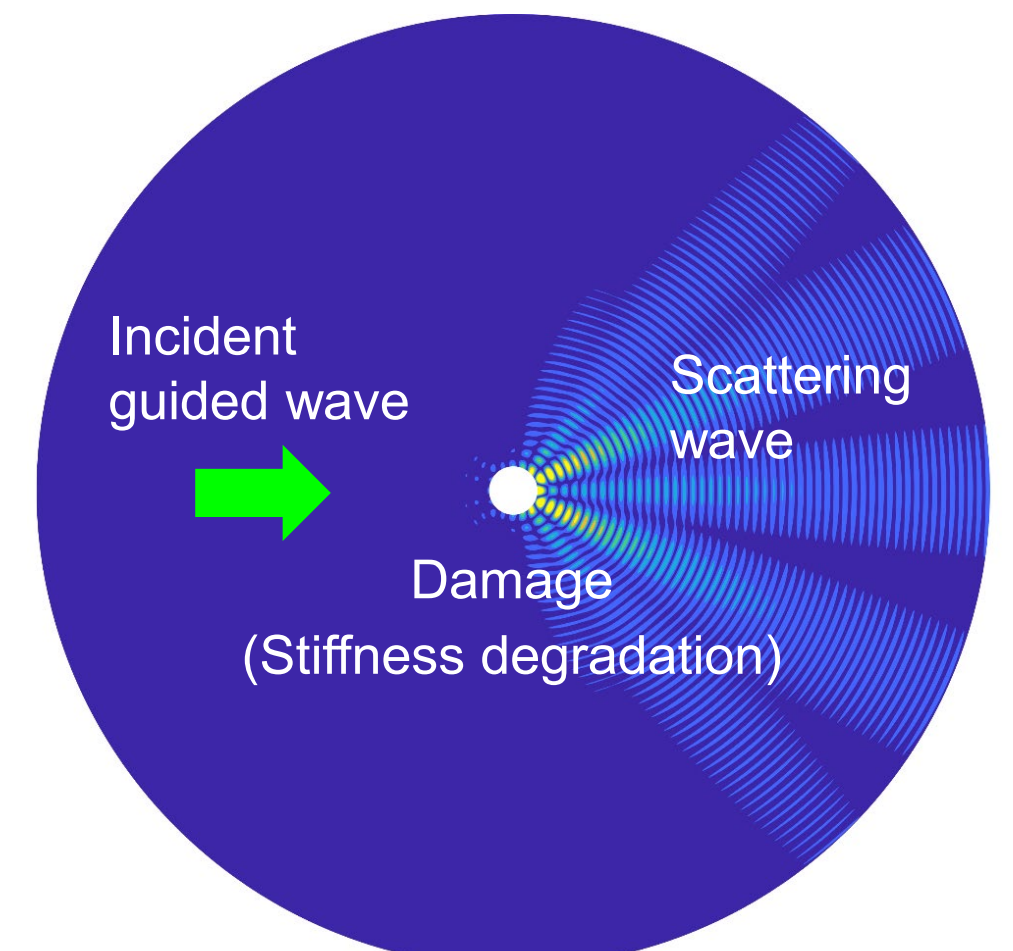


CFRP製補強パネル供試体

超音波ガイド波を用いた構造ヘルスマニタリング



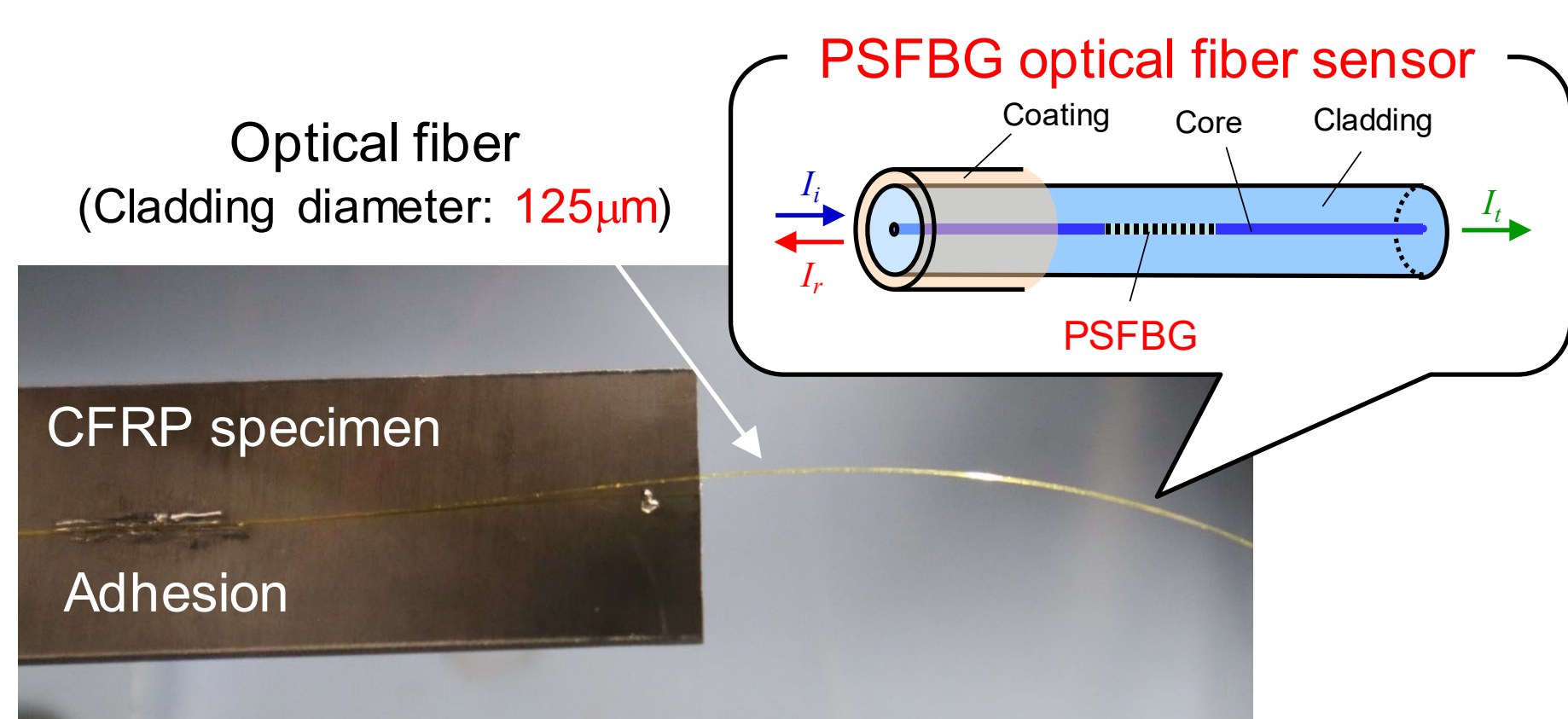
CFRP製スキンストリンガ接着構造における剥がれ損傷の検知



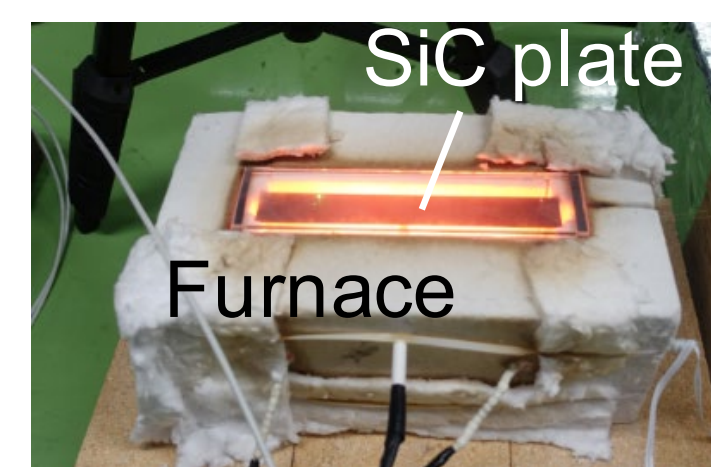
CFRP衝撃損傷のモデル化と薄板理論に基づく散乱波の計算

極限環境にも適用可能な非破壊検査システム

光ファイバセンサ (超音波受信)

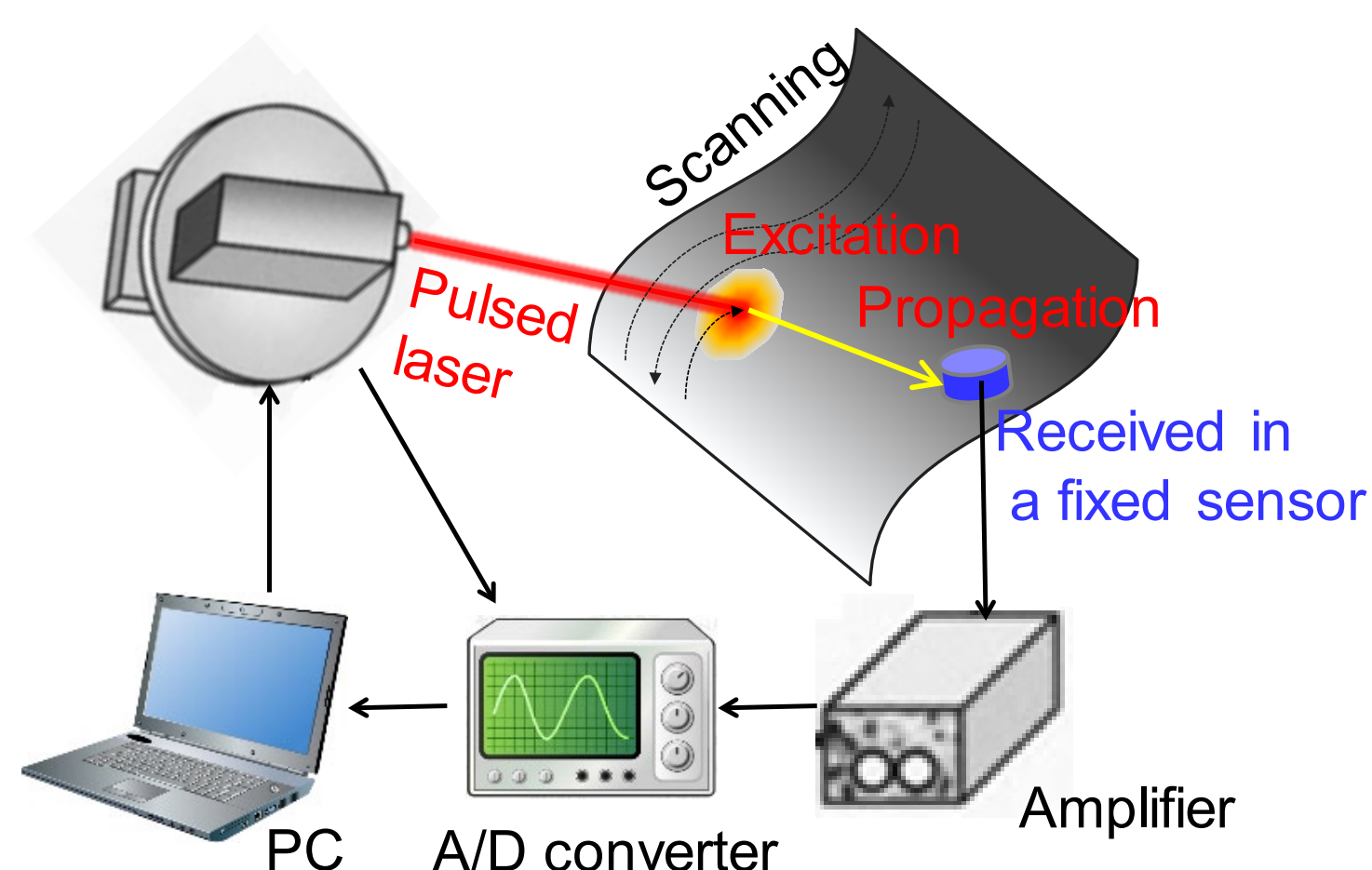


遠隔AE計測を実現する光ファイバ超音波センサ

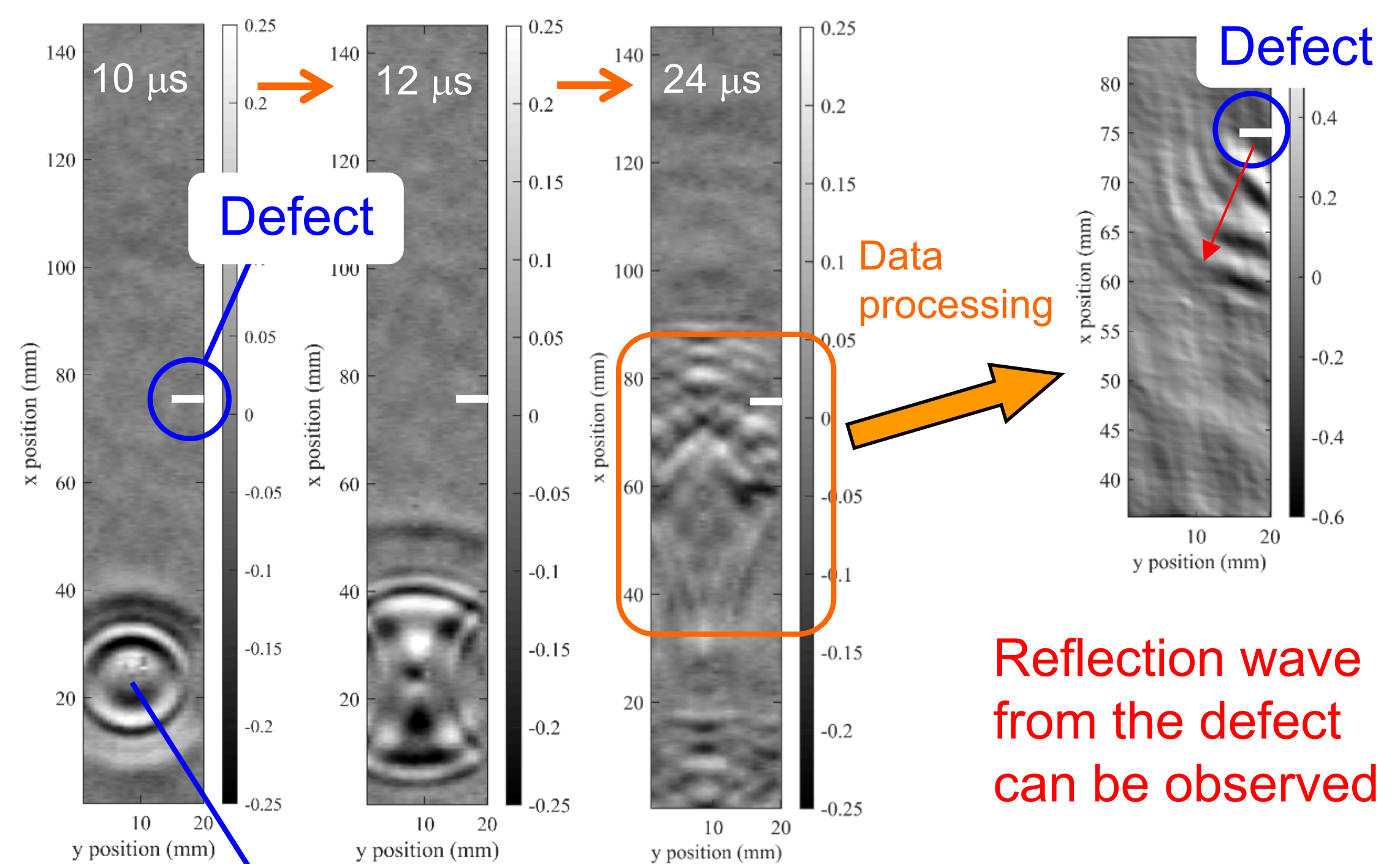


1000°Cに加熱したセラミック板に対して超音波検査を実施

レーザー超音波 (超音波発信)



レーザー超音波可視化検査装置 (LUVI-CP、つくばテクノロジー (株))



Reflection wave from the defect can be observed

Adhesion point of an optical fiber

1000°Cの高温状態でも、超音波の伝播挙動を可視化でき、欠陥からの反射波を捉えることが可能